

和歌山 県民の友 12月号

No.856
平成21年
【2009】

県民の友 12

人口 / 1,005,710男 472,362 / 女 533,348
世帯数 / 396,143 平成21年10月1日現在

発行 / 和歌山県広報室
〒640-8585 和歌山市小松原通1-1 ☎073-432-4111 (代表)
<http://www.pref.wakayama.lg.jp/>

P2

特集

わかやま2009 この一年

P6

特集

いつまでも
健やかに
暮らせる社会へ

P4

特集

こころの
バリアフリーを
めざして

P15

わかやま一番
「家庭用品」



一万人の参詣道「環境保全」活動が行われた高野山町石道

国体通信 2

「2015わかやま国体だより」11月下旬創刊！
和歌山国体をめざす選手の紹介やトキメキ新潟国体での本県選手団の活躍などを掲載。
配布場所 各振興局地域振興部、市町村役場、県内のローソン、セブンイレブン各店舗などのほか、ホームページからダウンロード可
<http://www.wakayama2015.jp/>
問 第70回国民体育大会和歌山県準備委員会事務局(県庁国体準備課内)
☎073-441-2015 FAX073-427-5377



他県からの情報発信コーナー！

他県と紙面の一部を交換し、和歌山県の魅力を全国に発信するとともに他県からの情報を紹介しています。

和歌山県のみなさまへ 奈良県からのお知らせ

平城遷都1300年祭いよいよ開幕
2010年1月から12月まで年中お祝いムードの奈良。県内各地でさまざまなイベントを開催します。是非この機会に奈良へお越しください。
(社)平城遷都1300年記念事業協会
☎0742-23-2010

平城遷都1300年祭



平城遷都1300年祭

広告 県収入の一部とするため有料広告を掲載しています。県庁広報室 ☎073-441-2032



知事メッセージ 県民の皆様へ 担当者制度

塩野七生さんの「ローマ人の物語」の最近のものにディオクレティアヌス帝についての話がありました。帝はローマ帝国を4分割し、4人の皇帝の働きによって、とりあえず帝国の治安と防衛は守られたが、4地域がそれぞれ固有の軍備を整え、固有の官僚機構を整備させたので、全体としてはそれまでの何倍もの政府ができてしまっ、これが結局はローマの活力を失わせたというのです。今でいうとタテ割行政の弊害、大きな政府の非効率というところでしょうか。

私は県庁をお預かりして3年近くになりますが、時によりこのタテ割行政の弊害を見かけます。自分に与えられた仕事はきちんとするが、他の部局と連絡、協議、協力をするのは少ないため、案件が部局の谷間に落ちてこたり、逆に同じような予算要求が複数の部局から上がってくることもあり。各部局の仕事を調整するのは知事一人というのでは大変です。私が、若い時から過ごしてきた通商産業省は、平気で他の部局や他の省庁の仕事にも口を出すところでしたから、余計こういう雰囲気には違和感があります。

そこで、タテ割行政の弊害が出ないようにさまざまな工夫を始めました。その一つが産業別担当者制度です。県の職員は、政策金融担当といった政策手段の担当をもっていますが、同時にそれぞれの人に〇〇産業担当という産業別の担当者になってもらいました。〇〇産業に関するさまざまな行政需要は、この担当者がすべて承知して政策手段の担当につながなければならないというものです。そうすると、担当者は、大いに産業界の人々と交わり、その苦勞や状況を聞いてこなければなりません。今年からは各振興局内で、地域別の担当者を決め、市町村の職員とはもちろん、地域の方々ともっと交わり、地域のあらゆることの把握に努めよという制度も発足させました。職員はこれまでの仕事に加え、こういう担当の仕事もあって大変ですがタテ割行政に安住することなく頑張っています。県民の皆様におかれても、こういう制度を利用して、担当職員に何でもアプローチしていただくようお願いいたします。

和歌山県知事 仁坂 吉伸

わかやま2009 この一年

特集 この一年

「紀伊山地の霊場と参詣道」 世界遺産登録5周年の記念事業を 各地で展開



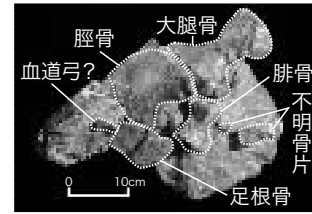
- ⑧高野山・熊野三山シンポジウムの様子(東京・三越劇場)
- 7月3日 世界遺産熊野本宮館オープンに伴い世界遺産センターが移転
 - 7月5日 一人の参詣道「環境保全」活動 高野山町石道
 - 9月27日 一人の参詣道「環境保全」活動 熊野古道高野坂
 - 10月16日 「高野山・熊野三山シンポジウム」東京・三越劇場(写真⑧)
 - 11月4日 「海外・国内ネットワークシンポジウム」和歌山東急イン 国際フォーラム in 熊野本宮
 - 11月15日 一人の参詣道「環境保全」活動 熊野古道富田坂
 - 11月15・29日 和歌山、三重、奈良の三県連携による「首都圏&関西圏」フォーラム
 - 11月20日 「世界から見た熊野の魅力シンポジウム」名古屋・中日パレス



⑥ 国道424号(修理川バイパス)開通式典
「X軸ネットワーク」(高速道路を補完する幹線道路網)を形成する重要路線の供用開始



⑤ 「第62回全国植樹祭」
和歌山県実行委員会設立総会



④ 滄竜の後ろ足の骨の化石



③ COP15 2009コペンハーゲン会議に
向けたエコアピールサイクリングツアー



② 「企業のふるさと」での
田植え風景



① 和歌山電鉄貴志川線「たま電車」

- ### 7月
- 1日 農林漁業者の所得向上を図るため、生産・加工・流通・販売対策を総合的に取り組む農林漁業者グループなどを支援する「新農林水産業戦略プロジェクト」を開始
 - 10日 県産フルーツを使った新スイーツ「わかやまポンチ」協会発足
 - 10日 湯浅御坊道路の4車線化の都市計画決定に向けた手続き開始
 - 11日 一日中小企業庁in和歌山
中小企業庁幹部が県を訪問。最新施策の説明や意見交換に加え、商店街にぎわいまちづくりや農商工連携などをテーマにシンポジウムを開催
 - 12日 近畿自動車道紀勢線南紀田辺〜すさみ間工事着手
 - 18日 南海フェリー和歌山徳島航路利用促進のため、県と徳島県が共同で料金値下げを柱とした社会実験を実施
 - 21日 平成23年春季に開催される「第62回全国植樹祭」和歌山県実行委員会設立総会(写真⑤)

- ### 4月
- 1日 インターネットショッピングモール「ふるさと和歌山 わいわい市場」リニューアルオープン
 - 1日 県立医科大学の平成21年度入学定員が10人増で95人に
 - 28日 県立自然公園の見直し
3公園の新規指定、1公園の指定解除、9公園の区域見直しを実施
 - 28日 新型インフルエンザ対策本部設置
- ### 3月
- 2日 地域安全情報、交通関係情報などを電子メールを用いて情報提供する「きしゅう君の防犯メール」運用開始
 - 21日 和歌山電鉄貴志川線で「たま電車」が運行開始(写真①)
 - 23日 和歌山県、徳島県、県立医科大学附属病院との間でドクターヘリなどの相互応援に係る基本協定を締結(運用開始3/24)
 - 同日、大阪府とも同様の協定を締結(運用開始4/1)
- ### 2月
- 11日 わかやま「元気」一万人NPOフェスタ
NPO法制定10周年に「元気な和歌山」を県内外に発信するためビッグホールで開催。約1万8000人が参加
- ### 1月
- 23日 食品スーパードライなどのレジ袋の無料配布中止の取組がスタート
 - 10月1日現在で36事業者220店舗が参加
 - 27日 妊婦の健康管理充実と経済的負担を軽減するため、「妊婦健康診査費助成事業」を実施

全国各地で知事が 県産品・観光のトップセールス

⑦わかやまマルシェ2009 in 赤坂サカスの様子

- 2月6日 「蔵出しみかん」札幌市中央卸売市場
- 2月19日 「わかやま産品商談会in大阪」
県立和歌山商業高校の生徒さんたちも参加
- 3月3日 「FOOD EX JAPAN 2009」
アジア・環太平洋地域で最大規模の食品・飲料の国際展示商談会。自治体中、最大規模の出展
- 4月30日 「2009食博覧会・大阪」
4年に1回開催される日本最大の食の祭典
- 6月6日 「梅」東京都中央卸売市場
- 7月6日 「桃」大阪市中央卸売市場、15日 「桃」大丸京都店
- 10月3日 「柿」南海なんば駅、こや花鉄道「天空」のPRも
- 10月16日 Leわかやまマルシェ2009 in 赤坂サカス(写真⑦)
- 10月20・22日 欧州トッププロモーション
フランス(パリ)、イタリア(ミラノ)で実施

- ### 8月
- 4日 地域固有の資源を活用し、個性豊かで活力ある地域づくりに取り組む市町村を支援する「わかやま元気プロジェクト」を開始(九度山町、すさみ町、御坊市、由良町、白浜町)
 - 7日 「県ひきこもり地域支援センター」を県精神保健福祉センターに設置
- ### 9月
- 6日 第46回和歌山県防災総合訓練
今年度、災害発生直後に孤立する恐れのある集落に、防災行政無線や衛星携帯電話などの通信手段を整備支援することを受け「孤立化地域無線通信訓練」などを新たに実施
 - 7日 「県自殺対策情報センター」を県精神保健福祉センターに設置
 - 11日 国道424号(修理川バイパス)供用開始(写真⑥)
 - 31日 新過疎法制定実現和歌山県総決起大会
現行の過疎地域自立促進特別措置法が平成22年3月末に失効することを踏まえ開催

- ### 6月
- 3日 恐竜時代の海の王者 滄竜の化石発見!(写真④)
有田川町鳥屋城山で白亜紀後期(約7500万年前)とされる地層から後ろ足の骨の化石を発見
 - 9日 ネットパトロール事業を開始
青少年のネット上でのいじめや犯罪被害を防ぐため、県、県教育委員会、県警察の三者が連携して事業を開始
 - 13日 京奈和自動車道 紀北西道路 起工式
- ### 5月
- 1日 インターネットを利用した自動車税のクレジットカード納付が可能に
 - 25日 「企業のふるさと」制度を開始(写真②)
企業と農村地域が連携・協力しながら農地保全や地産地消の推進、景観保全活動などに取り組む「企業のふるさと」第1弾として、伊藤忠商事(株)、天野の里づくりの会、かつらぎ町と覚書の調印式を実施
 - 31日 COP15(国連気候変動枠組条約第15回締約国会議)サイクリングツアー(写真③)
デンマーク大使や知事らがサイクリングでエコアピール

- ### 11月
- 6・11日 知事がブラジル和歌山県人会創立55周年記念式典への参加とペルー和歌山県人会訪問
 - 13・16日 発明の祭典inわかやま
子供たちに発明や科学への関心を高めてもらい、次代を担う人材を育成するため、子供から大人まで楽しめる参加型イベントや表彰式典などを開催
- ### 12月
- 16日 湯川秀樹博士ノーベル物理学賞受賞60周年記念事業「きのくに科学教育シンポジウム」
近年の理数離れに対応するため、わが国におけるノーベル賞受賞の先駆けであり、和歌山ゆかりの湯川秀樹博士受賞60周年事業として、講演会とシンポジウム、特別展示などを実施

こころの バリアフリーを めざして

こころの病気を正しく 理解するために

問 県精神保健福祉センター ☎073-435-5194

私たちは今、日々大きく変化する社会の中で暮らしています。種々の情報が飛び交い、競争が激しく、人間関係も複雑化し、さまざまなストレスを生み出しています。ストレスもうまく付き合わないと、こころや身体にひずみを生じ病気へと進行してしまふ場合があります。こころの病気も、身体の病気と同じように、早期発見、早期治療が大切で、軽症のうちには治療すれば回復も早くなります。しかし、病気により回復に差があり、障害が残る場合もあります。精神障害については、情報の不足からときに誤解や偏見を生んでしまうことがあります。和歌山県では、こころの病気や障害を正しく理解し、障害があってもなくても誰もが安心して暮らせる地域社会をめざしています。

正しく知っていますか？ 「こころの病気(精神疾患)」

こころの病気、と聞いて、ピンとくるでしょうか？

こころの病気には、統合失調症、気分(感情)障害、神経症性障害(神経症)などがあります。名前は聞いたことはあるけれど、あまりよく知らないという方も多いのではないのでしょうか。病気を正しく理解することで、早期発見や気づきにつながることもあります。まずは正しい知識を身につけてください。

統合失調症

実際に存在しない声が聞こえる幻聴、現実にはあり得ないことを信じ込んでしまう妄想、頭の中が混乱して考えがまとまらなくなる思考障害などがおこります。

気分(感情)障害

うつ病と双極性感情障害(躁うつ病)などうつ病 気分が沈み、興味や喜びが失われ、生気がなく活動的でなくなるといった「うつ状態」のみが出現します。多くは不眠、食欲低下、全身倦怠感など身体の症状を伴います。

双極性感情障害 気分が高揚し、生気がみなぎって活動的となる「躁状態」の時期と気分が落ち込み、元気がなく活動性が下がる「うつ状態」の時期を繰り返します。なかには、躁状態の程度が

軽く、ご本人も周囲も気付かない場合があるので注意が必要です。

神経症性障害(神経症)

パニック障害、全般性不安障害、社会不安障害、強迫性障害など

パニック障害 ひどい動悸や呼吸困難、息苦しさ、震えなどを体験する「パニック発作」があり、その後、「また似たような発作がおきるのではないか」という強い不安を抱いてしまいます。そのため単独での外出や、社会生活が困難になることがあります。

全般性不安障害

慢性的な不安を特徴とし、不安や心配の材料が次々と移り、何もかもが気がかりになってしまいます。

社会不安障害

他人に注目されることに強い恐れを抱いたり、社会的な状況を避けたりします。不安や恐怖からパニック発作がおこることもあります。このために、毎日の生活や社会的な活動に支障をきたしたり、ひきこもったりすることがあります。

強迫性障害

例えば、「自分の体は汚れている」「人にひどいことをしてしまうかもしれない」という考えにとらわれてしまい、一日中、何十回となく手を洗ったり、何度も繰り返し確認したりといった行動を繰り返してしまいます。

「こころのバリアフリー宣言」をご存じですか？

厚生労働省がこころの病気を正しく理解するために打ち出した指針のことで、8つの柱からなっています。

① 関心

こころの病気は、糖尿病や高血圧と同じで誰でもかかる可能性があります。2人に1人は過去1カ月間にストレスを感じていて、生涯を通じて5人に1人は、こころの病気にかかるといわれています。

② 予防

無理しないで、こころも身体も適度なストレスは、生活の張りにもなりますが、過度のストレスは、こころの病気を発症させる大きな原因に。ストレスと上手に「付き合え」ながら、できるだけこれを「ためない」生活を心がけましょう。

③ 気づき

こころの病気も、「早期発見、早期治療」が回復への近道です。不眠や不安が主な最初のサイン。本人でも周囲の方でも、いつもと違うなと気づいたら、早めに相談することが大切です。

④ 自己・周囲の認識

こころの病気には、休養がとても大切な薬。本人も、周囲の人も、病気を正しく理解し、専門医の治療を受けながら、あせらずにゆくりと、時間をかけて治す気持ちを持つことが大切です。

周囲の無理解や干渉は、回復を遅らせてしまうことも、知っておきましょう。

⑤ 肯定

こころの病気をもちの人に対し、先入観つまりこころのバリアを持たないでください。昔からのさまざまな誤解や偏見によって、多くの当事者や家族が深く傷つき、時には受診を遅らせたり、病状を悪化させることさえあります。

⑥ 受容

誰もが自分の暮らししている地域(街)で、自分らしく生きることは自然な姿で、障害の有無にかかわらず誰もが持っている当然の権利です。また、誰もが他者から受け入れられることで、自分の本来持っている力をさらに発揮できるようにするものです。

⑦ 出会い

偏見や誤解は、実際に触れ合う機会がないことから生じている場合も。身近な交流が、互いを理解する近道であり、第一歩です。

⑧ 参画

障害の有無にかかわらず、すべての人々が、社会の一員として、互いに支え合うやさしい社会を作っていくいきましょう。

だれ 誰かに話を聞いてもらおうと楽になることもあります。
はなし き 見近な人に相談できない時は、私たちに電話をください。
み ちか ひと とき わたし でん わ



思春期・青年期 特定窓口相談(要予約)

専門の医師による思春期・青年期に特有の悩みや精神疾患、ひきこもり等の相談

青年のつどい フリースペース

ひきこもりの問題を持つ当事者の方(概ね16歳から40歳までの方)を対象に、自由に過ごせる憩いの場

ひきこもり家族のつどい

ひきこもり者の家族同士が分かち合いや情報交換の場を持ちながら問題の解決に向かう力を高めるための、家族どうしの集まりの会

けんせいしん ほけんふくし
県精神保健福祉センター ☎073-435-5194
月～金曜日(祝日・年末年始12/29～1/3を除く)9:00～17:45
和歌山市手平2-1-2 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛2階

こころの電話相談 ☎073-435-5192
月～金曜日(祝日・年末年始12/29～1/3を除く)9:30～16:00
精神疾患や依存症、職場や人間関係のストレス、ひきこもり等のこころの健康に関する電話相談

精神保健一般相談(要予約)

精神保健福祉士、保健師、臨床心理士によるこころの相談

自死遺族相談(要予約)

自死(自殺)により大切な人を亡くされた方の死別による悲しみからの回復を手伝うための相談

自死遺族の分かち合いの会

自死遺族が悲しみから回復する力を高める会

講演会のご案内

テーマ うつと不安を乗り越えて
「こころの力を育てる方法」
講師 慶応義塾大学保健管理センター教授
大野 裕 氏
日時 1月24日(日)13:30～15:30
場所 県勤労福祉会館プラザホープ 4階(和歌山市)
問 県精神保健福祉センター

いつまでも健やかに暮らせる社会へ

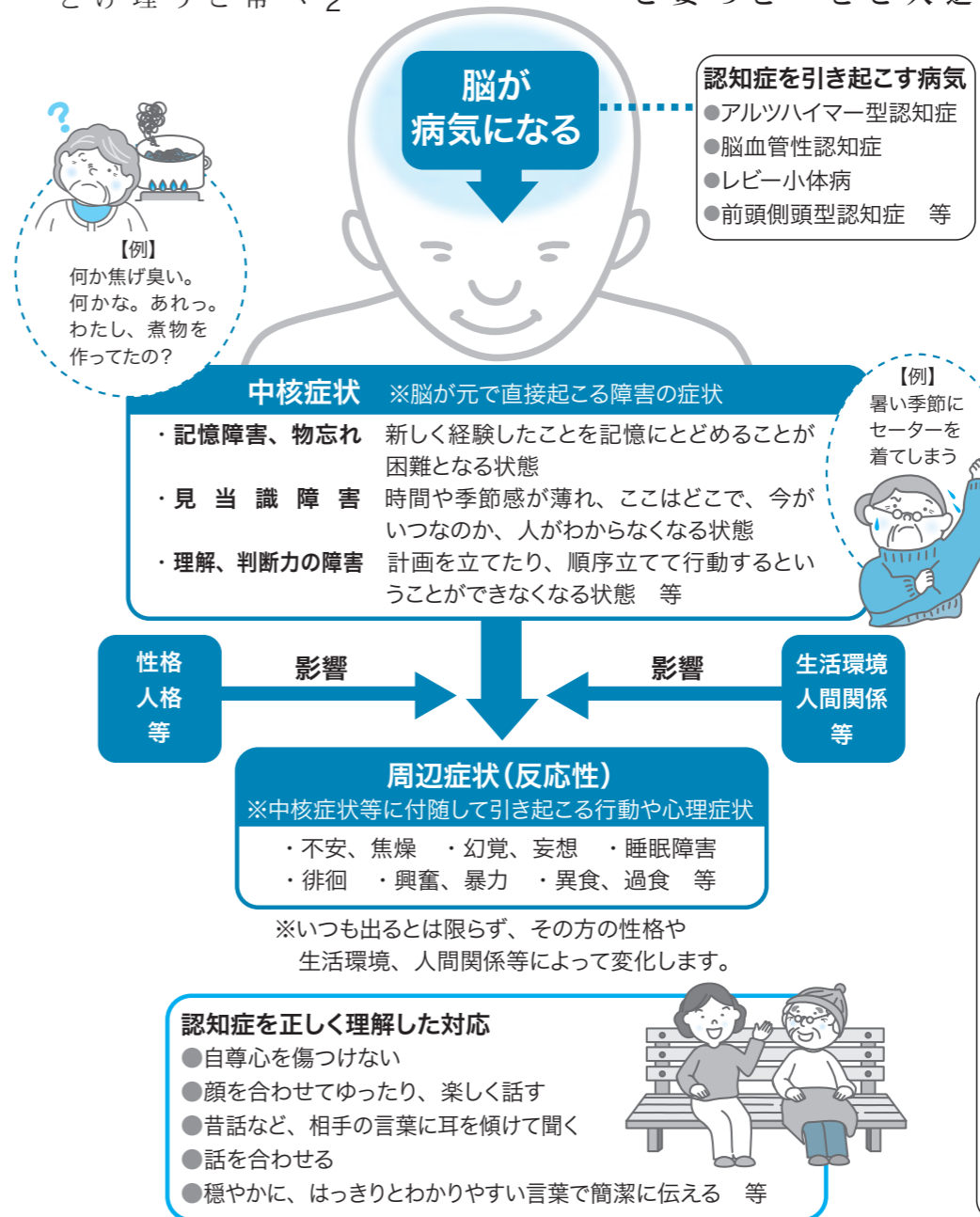
和歌山県の高齢化は全国に先行して進んでおり、10年後にはおよそ3人に1人が高齢者になることが予測されていることから、高齢社会に対する取組が重要となります。

県では、介護が必要な状態になることを予防するとともに、介護が必要になっても、地域で支え合う体制づくりや必要なサービスの充実・質の向上を進めることで、安全・安心な社会をめざします。

認知症を正しく理解しましょう

問 県庁介護予防推進室
073-441-2522

認知症とは、記憶や判断力などが衰え、今までできていた事ができなくなり、日常生活が送れなくなった状態を言います。これは、誰しもがなり得る脳の病気だという認識が必要です。また、正しい知識と理解、普段からご家族やご近所同士のさりげない見守りや挨拶などの声かけを行うことも大切です。



介護が必要になったら...

問 県庁長寿社会課
073-441-2440

介護保険制度は、介護が必要な方に対し必要な介護保険サービスを提供するしくみです。サービス費用の9割が保険から給付され、残り1割が自己負担となります。利用するためには、市町村に申請し、認定調査を受けて「介護や支援が必要である」と認定されることが必要です。

介護保険サービス利用の流れ

市町村窓口で、要介護(要支援)認定の申請をします。

・調査員が自宅等を訪問し、申請者の心身の状況を調査します。



・主治医が病気の状態等をまとめた意見書を作成します。
・介護認定審査会が申請者にどのくらいの介護が必要か判定した後、市町村から認定結果が届きます。

ケアマネジャー等と相談して、希望や状態に応じたケアプランを作成します。

サービス事業者と契約し、介護保険サービスを利用します。

よくあるご質問にお答えします

Q 寝たきりの家族の介護で、申請に行くことが難しいのですか？

A 本人または家族のほか、居宅介護支援事業者、地域包括支援センター、介護保険施設などに代行してもらうこともできます。



Q 認定前に、どうしても介護保険サービスを利用したいのですが？

A 申請から認定結果がでるまでは1カ月程度かかります。認定前でも、緊急の場合は、要介護度を仮に定めた暫定ケアプラン作成の手続きを経て、サービスを利用できますが、その場合、事前に市町村窓口までご相談をお願いします。

Q 医療費と介護費の両方の負担があつて、家計に重い負担となつていないのですか？

A 平成20年4月から、「高額医療・高額介護合算療養費制度」が設けられました。この制度では、世帯内の同一の医療保険の加入者の方について、医療保険と介護保険の自己負担額の合計が、この制度の基準額を超えた場合に、その超過分が、医療保険と介護保険の双方から、自己負担の比率に応じて支給されます。詳しくは、ご加入の医療保険の窓口または市町村の介護保険窓口にお問い合わせください。

質の高い介護サービスを受けていただくために...

問 県庁長寿社会課
073-441-2519

高齢化の進展などにより、福祉・介護サービスを必要とする方々が急増する一方、介護職の不足・離職者の増加が全国的に深刻化しています。今後、ますます介護人材の需要が増えるなかで、質の高い介護サービスを確保するため、県では、介護の人材確保や介護サービスの質の向上のための取組を行っています。

介護分野に就職を希望される方に対する支援

●介護人材新規就業支援事業

●事業主(所)に対する支援

●介護職員処遇改善交付金事業
●現任介護職員等キャリア・アップ支援事業
●認知症介護実践研修(実践者研修・実践リーダー研修)

実践リーダー研修に参加されていた介護福祉士(介護主任)中島 香央里さんの声

働き始めた頃は、入所されている方との世代間の考え方の違いを感じました。でも今では、みんなと楽しく過ごせる日々になります。この研修を通じ、自分が働く職場とはまた違う、人との接し方や日中の業務の流れの中の良い所を吸収したいと思っています。



認知症に関するお問い合わせは
わかやま認知症なんでも電話相談
平日10:00~15:00(土・日・祝日・年末年始12/29~1/3を除く)
☎0120-969-487 ☎073-423-5771
※お住まいの市町村の地域包括支援センターでも受け付けています。

認知症サポーター100万人キャラバン
認知症について、正しい理解と知識を持った「認知症サポーター」を養成しています。各地で「認知症サポーター養成講座」を開催していますので、お問い合わせください。

募 集

世界遺産登録5周年記念 一人の参詣道「環境保全」活動

熊野古道中辺路(発心門王子～熊野本宮大社)「ササユリ球根植栽」ウォーク
時 1月24日(日) 10:30～16:00
集合場所 ①和歌山市(市民会館前) 6:45 又は JR和歌山駅東口 7:00 集合
②熊野本宮館(田辺市) 10:30 集合
定 ①② 各50人 ③
申・問 郵送、FAX、Eメールで住所、氏名、年齢、電話番号、希望集合場所を1月8日までに和歌山放送「ササユリ球根植栽ウォーク」係
〒640-8577(住所記入不要)
FAX073-428-0960
☐ entry@wbs.co.jp
☎073-428-1431 [HP](#)

シルバー美術展の開催・作品募集

時 2月18日(木)～23日(火)
10:00～17:00 ※最終日は12:00まで
場 和歌山ビッグ愛(和歌山市)
対 県内在住の昭和26年4月1日以前生まれのアマチュアの方
部門 日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真から1人1部門1品(共同作品不可)
申・問 郵送、FAXで所定の出品票を1月29日までに県社会福祉協議会
〒640-8545 和歌山市手平2-1-2 和歌山ビッグ愛7階
☎073-435-5214 FAX073-435-5226
※出品票については問い合わせ先まで
<http://www.wakayamakenshakyo.or.jp/>

わかやま冬の交通安全県民運動

期間 12月1日(火)～10日(木)
重点運動「飲酒運転の根絶」「高齢者の交通事故防止」

飲酒運転はしない・
させない・許さない!

問 県庁県民生活課

肢体障害者IT講習会(ワーククラス)

時 1月22・29日・2月5日(いずれも金曜) 10:00～15:00
場 県聴覚障害者情報センター(和歌山市)
対・定 県内に在住する満18歳以上の肢体障害者で全日程受講できる方5人 ④
申・問 郵送、FAXで所定の申込書を1月8日までに会場 〒640-8034 和歌山市駿河町35
☎073-421-6311 FAX073-421-6411
☐ w-mikan@kisweb.ne.jp

県男女共生社会推進センター “りいびる”

①りいびる語り合い広場
「くらしに生きる法律講座」
時・場 1月12日(火) 13:30～15:30
りいびる
対・定 一般30人 ④
②「食」から見つめる健やかな暮らし～食生活を見直すための生活の知恵を学ぶ(全2回)～
時・場 第1回 1月16日(土)、第2回 1月23日(土)
いずれも 13:30～15:30 りいびる
対・定・費 一般20人 ④ 講座1回500円(材料費)
①②共通
一時保育希望の場合は事前にご相談ください。
申・問 郵送、電話、FAX、Eメールで住所、氏名、年齢、電話番号を当日までに県男女共生社会推進センターりいびる 〒640-8319 和歌山市手平2-1-2和歌山ビッグ愛9階
☎073-435-5245 FAX073-435-5247
☐ e0315011@pref.wakayama.lg.jp
[HP](#)

男女共同参画セミナー in 紀の川市

桂枝曾丸さんの和歌山弁落語とトーク
時 1月24日(日) 13:30～15:30
場 打田生涯学習センター(紀の川市)
対・定 一般80人 ④ 手話通訳有
申・問 電話、FAXで住所、氏名、電話番号、事業名を紀の川市政策調整課
☎0736-77-0815 FAX0736-77-4910

2009 オリンピックデーラン 和歌山大会の参加者

オリンピックを記念したマラソン大会
時 1月10日(日) 8:30～
場 紀三井寺公園(和歌山市)
対・定 親子マラソン1.5km(小学生以下と保護者)、チャレンジマラソン3km(中学生以上)合計1,500人 ④
申・問 往復ハガキに住所、参加者の氏名、年齢、希望コースを記入し12月1～20日までに紀三井寺公園管理事務所 〒641-0014 和歌山市毛見200 ☎073-444-7565

宝くじふるさとワクワク劇場 「ほのぼのコメディ劇場」公開 オーディション参加希望者

県民文化会館で開催する吉本新喜劇(2月7日)に出演するための公開オーディションを実施
時 1月16日(土)14:00～
場 県民文化会館(和歌山市)
対 一般
申・問 郵送、電話、FAX、Eメールで住所、氏名(フリガナ)、性別、年齢、電話番号を12月27日までに県文化振興財団「宝くじオーディション」係
〒640-8269 和歌山市小松原通1-1 ☎073-436-1331 FAX073-436-1335
☐ wacaf@wacaf.or.jp
<http://www.wacaf.or.jp>

消費生活サポーター養成講座

悪質商法による被害を未然に防止するため、地域での啓発活動の担い手を募集
時・場・費 ①1月21日(木)・22日(金) 御坊保健所
②1月26日(火)・27日(水) 串本町文化センター
③2月2日(火)・3日(水) *県消費生活センター(和歌山市)
いずれも初日 13:30～16:00 2日目 9:30～16:30 無料
対 地域での啓発活動に取り組む意欲のある県内在住の方で2日間受講できる方
申・問 12月22日までに県庁県民生活課

職業訓練受講生

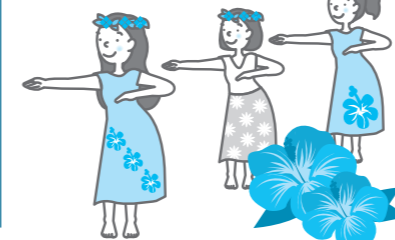
就職に有利な専門知識や技能を習得
科目 CAD製図科
時 2月2日～4月27日
場 雇用・能力開発機構和歌山センター(和歌山市)
定・費 28人 9,000円程度
申・問 1月8日までに直接ハローワーク ☎073-461-5649
<http://www.ehdo.go.jp/wakayama/>

東京学生寮入寮者

面接 ①1月23日(土) ②3月13日(土)に県民文化会館(和歌山市)
対 東京近辺の4年制大学(原則昼間の部)に入学予定又は在学中の男子で、保護者が県内在住の方
定 12人程度
費 入寮金6万円 月額(食費込)48,500円(予定)
申 ①1月4～20日 ②2月15日～3月11日に必要書類を県奨学会東京学生寮 〒182-0016 東京都調布市佐須町3-16-2
問 東京学生寮 ☎042-482-2390
<http://www.wakayamaryo.net>
県教育委員会総務課

フラダンス教室

時 ①金曜クラス(全6回)1月15・29日、2月5・19日、3月5・19日 いずれも 15:00～16:30
②土曜クラス(全6回)1月16・30日、2月6・20日、3月6・20日 いずれも 19:00～20:30
場 県立橋本体育館(橋本市)
対・定・費 18歳以上の女性 ①20人 ②30人 ④ 6,000円
申・問 1月9日 11:00～持参により所定の申込用紙に必要事項を記入し参加費を添えて会場 〒648-0061 橋本市北馬場455 ☎0736-32-9660



知的障害児通園施設入園希望児

対象施設 あおい学園(和歌山市今福)、こじか園(和歌山市上黒谷)、ひまわり園(紀の川市桃山町)
対 平成16年4月2日以降に生まれた児童
申・問 1月29日までに県子ども・女性・障害者相談センター ☎073-445-5312

原爆被爆二世健康診断の実施

対 県内在住の原爆被爆二世の方
定 35人(未受診者を優先)
場 県が委託する医療機関
申・問 12月15日までに県庁難病・感染症対策課、保健所(和歌山市含む)

年末ジャンボ宝くじの購入は県内で!

発売期間 11月24日(火)～12月22日(火)
県内で販売された宝くじの売上の一部は県の収入となり、道路や橋、公園の整備など県内の公共事業に使われますのでご協力をお願いします。
問 県庁財政課



青少年の家

自然の中で心はぐくむ体験がいっぱい!

紀北青少年の家

〒649-7112 かつらぎ町中飯降1317-3
☎0736-22-5530 FAX0736-22-5531
<http://www.cypress.ne.jp/wasei1/>

親子餅つき

時 12月27日(日)10:00～15:00
対・定・費 親子40人 ④ 1,000円
申 12月20日まで



連凧に挑戦!

時 1月9日(土)10:00～14:00
対・定・費 一般30人(3人1組で10組) ④ 600円
申 12月25日まで



こおろどフェスタ

フリーマーケット出店者募集
時 2月7日(日) 10:00～16:00
対 県内在住で責任者は20歳以上の方
定・費 24店舗 ④ 1,000円
申 1月5～20日

潮岬青少年の家

〒649-3502 串本町潮岬669
☎0735-62-6045 FAX0735-62-0182
<http://www.naxnet.or.jp/~wasei3/>

タイでChan Chan焼きしてみませんか

地元(串本)産の鯛を使いちゃんちゃん焼きに挑戦
時 1月16日(土)
対・定・費 一般(小学3年生以下は保護者同伴)50人 ④ 1グループにつき3,000円
申 12月16日～1月9日

ウィンター・キャンプ

時 1月30日(土)～31日(日)1泊2日
対・定・費 小学4～中学3年生30人 ④ 3,200円
申 12月19日～1月9日

申込には参加者全員の住所、氏名、年齢(学年)、電話番号などが必要です。
Eメール、FAXで申し込まれた場合は、電話で確認してください。
※詳しくは各施設へ

試験

県職員採用説明会

今年度の県職員採用試験の実施状況や業務説明、個別相談

時・場 12月22日(火)13:30～16:30
アパローム紀の国(和歌山市)

対 受験を希望する方や家族、学校関係者など

申・問 郵送、FAX、Eメールで住所、氏名(ふりがな)、電話番号、年齢、会場名を開催日前日までに県人事委員会事務局 FAX073-433-4085

✉ e2101001@pref.wakayama.lg.jp

HP

県立和歌山盲学校 平成22年度入学案内

募集学科 全科修業年限3年

本科 ①「普通科」高等学校普通科に準ずる教育内容 ②「保健医療科」高等学校職業科に準ずる教育内容

専攻科 ①「保健医療科」②「理療科」いずれも保健医療、理療に関する専門教育(高等学校卒業以上の方対象) ※本科普通科以外は社会人の方も対象となります。その他、募集要項に定められた要件があります。

出願期間 2月15～19日

問 県立和歌山盲学校

☎073-461-0322

県立中学校入学案内

古佐田丘中学校(橋本市)・向陽中学校(和歌山市)・桐蔭中学校(和歌山市)・日高高等学校附属中学校(御坊市)・田辺中学校(田辺市)

出願期間 1月7～13日 ※郵送のみ受付。最終日の消印有効

検査日 1月23日(土)・24日(日)

費 2,200円(県証紙)

募集要項配付場所 県教育委員会学校指導課、県教育センター学びの丘教育指導課 ☎0739-26-3497

古佐田丘中学校 ☎0736-32-0049

向陽中学校 ☎073-471-0070

桐蔭中学校 ☎073-436-7755

日高高等学校附属中学校

☎0738-22-0500

田辺中学校 ☎0739-22-1921

問 募集要項配付場所

県政広報番組のお知らせ

テレビ テレビ和歌山(WTV)

きのくに21 日曜 9:30・(再)22:00

12月 6日 新農林水産業戦略プロジェクト

12月13日 第2回プレミア和歌山発表!

12月20日 知事と語る

県民チャンネル

月・木・金曜 20:55 火曜 21:55 水曜 19:55

ラジオ 和歌山放送(WBS)

県庁だより 毎日 11:40・(再)18:00

※日曜は再放送がありません。

放送内容・時間は都合で変更する場合があります。

ごあんない

第3回きのくにロボットフェスティバル2009

①近畿の仲間もやってくる! きのくに学生ロボットコンテスト

・小学生の部「ミニサッカーゲーム」

・中学生の部「球並べゲーム」

・高校生の部「玉入れゲーム」

②最先端技術を体験しよう! スーパーロボットショー

・研究機関と企業ロボットのデモン

・研究機関と企業ロボットのデモン

・研究機関と企業ロボットのデモン

・研究機関と企業ロボットのデモン

・研究機関と企業ロボットのデモン

・研究機関と企業ロボットのデモン

・研究機関と企業ロボットのデモン

・研究機関と企業ロボットのデモン

・研究機関と企業ロボットのデモン

・研究機関と企業ロボットのデモン

・研究機関と企業ロボットのデモン

・研究機関と企業ロボットのデモン

・研究機関と企業ロボットのデモン

・研究機関と企業ロボットのデモン

・研究機関と企業ロボットのデモン

・研究機関と企業ロボットのデモン

・研究機関と企業ロボットのデモン

・研究機関と企業ロボットのデモン

・研究機関と企業ロボットのデモン

・研究機関と企業ロボットのデモン

・研究機関と企業ロボットのデモン

・研究機関と企業ロボットのデモン

・研究機関と企業ロボットのデモン

・研究機関と企業ロボットのデモン

・研究機関と企業ロボットのデモン

・研究機関と企業ロボットのデモン

・研究機関と企業ロボットのデモン

・研究機関と企業ロボットのデモン

・研究機関と企業ロボットのデモン

・研究機関と企業ロボットのデモン

・研究機関と企業ロボットのデモン

・研究機関と企業ロボットのデモン

・研究機関と企業ロボットのデモン

・研究機関と企業ロボットのデモン

・研究機関と企業ロボットのデモン

・研究機関と企業ロボットのデモン

・研究機関と企業ロボットのデモン

・研究機関と企業ロボットのデモン

・研究機関と企業ロボットのデモン

・研究機関と企業ロボットのデモン

・研究機関と企業ロボットのデモン

・研究機関と企業ロボットのデモン

・研究機関と企業ロボットのデモン

・研究機関と企業ロボットのデモン

最新の医療カンファランス(講演)

テーマ 消化器がん検診～最新の話

時 1月14日(木) 14:00～16:00

場 県立医科大学 生涯研修・地域医療支援センター(和歌山市)

問 会場 ☎073-441-0789

青島広志のおしゃべりクラシックPart4

時 1月17日(日) 開演 15:00～

場 県民文化会館大ホール(和歌山市)

費 一般2,500円 学生500円

問 県文化振興財団 ☎073-436-1331

http://www.wacaf.or.jp/

特定疾患治療研究事業における対象疾患の追加

10月1日から新たに11疾患追加されました。追加の疾患は間脳下垂体機能障害、家族性高コレステロール血症などで、12月28日までに申請すれば10月に遡及し認定されます。

新たに追加された疾患はホームページでご覧いただけます。

問 保健所(和歌山市含む)、県庁難病・感染症対策課 [HP](#)

工業統計調査にご協力を

製造業の事業所を対象に、12月31日現在で実施する経済産業省所管の調査です。調査結果は、行政の施策を行ううえで重要な基礎資料として広く利用されています。調査内容は、秘密が厳守され、他の目的に使用されることは一切ありません。調査員が訪問した際にはご協力をお願いします。

問 県庁調査統計課

12月は滞納整理強化月間です

県と市町村、和歌山地方税回収機構は、納期内納税者との公平を図るため、再三の納税催告に応じない方に対し、差押などの滞納処分を行います。納期限を過ぎて、まだ納付されていない方は至急納付してください。納付についてのご相談は、県税事務所や市町村役場まで

問 県庁税務課

わかやま産業振興財団の統合移転

総務部・経営支援部(和歌山市西汀丁26)とテクノ振興部(和歌山市小倉60)の事務所を統合し12月21日(月)から新住所に移転します。

移転先 和歌山市本丁2-1 フォルテ・ワジマ6階 ☎073-432-3412

県住宅供給公社の事務所移転

12月7日(月)から新住所に移転します。

移転先 和歌山市十三番町30 酒直ビル1階 ☎073-425-6885

多重債務者無料相談会

時 12月17日(木) 9:30～17:00

場 近畿財務局和歌山財務事務所(和歌山市)

申・問 会場 ☎073-422-6141

※事前申込必要

平成22年県警察年頭視閲式の開催

警察官とパトカー、白バイなどの警察車両による行進や訓練

時・場 1月7日(木)14:00～15:00

紀三井寺公園(和歌山市)

問 県警察本部教養課

☎073-423-0110

平成21年度 和歌山県名匠表彰

地域社会における伝統的な技術文化の向上発展に顕著な功績のある次の方を表彰しました。



栗林 つね代さん

手漉き和紙「保田紙」製作

有田川町

問 県庁文化国際課

人権連載 このころの 気づき がんばってます! 地域の民生委員・児童委員

ゆうがた じ まえ きょう しゅつぎん じ かん
夕方5時前、今日も出勤する時間です。

ち さい ばん へん しつ ぎ こ う い い じん じ どう い い じん
最寄りの交番から変質的な行為をする男が出没し子

どもたちが恐がっているという話を聞いて、見張りを引き受けました。「お帰り」「頑張ってきたね」「気をつけて帰ってね」声を掛けても子どもたちからは何の反応もありませんでした。2カ月経つ頃から「たいま」「さようなら」大きな声が返ってくるようになりました。今では子どもたちだけでなく、自動車や自転車の方との絆もできました。

また、毎朝踏切道で小学生を見守るための安全パトロールもしています。安全パトロールを始めた頃の「宝」が4年、5年と年が経つに従って、中学生・高校生となり、「宝」はさらにそれぞれ輝き大きくなりました。将来を背負う子どもたちに力強さと楽しさを感じ、私の顔も自然にほころびます。<紙面の都合により一部省略しています>

これは、ある民生委員・児童委員の奮闘記です。皆さんが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域の見守りや福祉サービスの相談などの活動をしています。

困ったことや心配なことがあればお住まいの地域の民生委員・児童委員に相談してくださいね。

困ったことや心配なことがあればお住まいの地域の民生委員・児童委員に相談してくださいね。

困ったことや心配なことがあればお住まいの地域の民生委員・児童委員に相談してくださいね。

困ったことや心配なことがあればお住まいの地域の民生委員・児童委員に相談してくださいね。

困ったことや心配なことがあればお住まいの地域の民生委員・児童委員に相談してくださいね。

困ったことや心配なことがあればお住まいの地域の民生委員・児童委員に相談してくださいね。

困ったことや心配なことがあればお住まいの地域の民生委員・児童委員に相談してくださいね。

困ったことや心配なことがあればお住まいの地域の民生委員・児童委員に相談してくださいね。

困ったことや心配なことがあればお住まいの地域の民生委員・児童委員に相談してくださいね。

困ったことや心配なことがあればお住まいの地域の民生委員・児童委員に相談してくださいね。

困ったことや心配なことがあればお住まいの地域の民生委員・児童委員に相談してくださいね。

催し

●印の各館は65歳以上、障害者、高校生以下、外国人留学生などは入場無料
◇印の各館は65歳以上、障害者は入場無料 ■は展示 ■はイベント

●**県立近代美術館** ☎073-436-8690
休館/月曜(祝日の場合次の平日) 12/28~1/4

■美術百科「ここはどこ」の巻 12月19日~4月11日

●**県立博物館** ☎073-436-8670
休館/月曜(祝日の場合次の平日) 12/28~1/4

■きのくにの歩み一人々の生活と文化ー 12月12日~

◇**県植物公園緑花センター** ☎0736-62-4029
休館/火曜(祝日の場合次の平日) 12/28~31

イベントは事前申込が必要です。申込時に定員に達している場合もありますのでご了承ください。

■新春を迎える寄せ植え(現代風お正月)の作り方 12月12日

■お正月を飾る寄せ植え(松竹梅)の作り方 12月13日

●**県立紀伊風土記の丘** ☎073-471-6123
休館/月曜(祝日の場合次の平日) 12/28~1/4

■民家でおかしばなし(冬) 12月13日 13:30~15:45

■体験教室「正月準備のしめ縄作り体験」

12月26日 10:00~12:30

対・定・費・申 小学生以上 30人 (抽) 300円

12月22日まで

■スポット展「トラの郷土玩具とおもちゃ絵ー松島藤太郎コレクションからー」 12月19日~1月11日

●**県立自然博物館** ☎073-483-1777
休館/月曜(祝日の場合次の平日) 12/28~1/4

■魚の年齢をさぐる 1月17日

対・定・費・申 小学5年生以上(小学生は保護者同伴)

15人 (抽) 78円 1月3日まで

■裏方探検ツアー 1月23・30日 10:00~12:00

対・定・費・申 小学生(小学4年生以下は保護者同伴)

各20人 (抽) 78円 1月9日まで

■恐竜化石調査に参加しよう② 1月24日 13:00~15:00

対・定・費・申 中学生以上 30人 (抽) 78円 1月10日まで

県公館 一般公開 ☎073-441-2213

問 県庁管財課 入場無料 茶室、庭園などがあります。

1月10日 10:00~16:00

※駐車場はありません。バス停「不老橋」下車徒歩1分

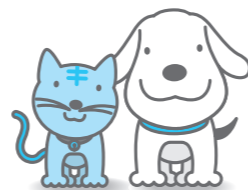
県動物愛護センター ☎073-489-6500

入場無料 休館/火曜 12/29~1/3

■いぬ・ねこ譲渡講習会

12月27日、1月6・10日 11:00~

※申込不要、譲渡を受けるには受講が必要です。



県民の友の点字版、音声版をご存じですか？

県民の友は、視覚に障害のある方にも読んでいただけるよう、点字版やカセットテープによる音声版も作成しています。ご希望の方はお気軽にお問い合わせください。

問 県庁広報室 ☎073-441-2032

豆知識

点字は縦3点・横2点の6点の組み合わせでできている横書きの文字で、大きさも決まっています。点字には漢字はありませんが、仮名、数字、アルファベットのほか、各種記号があります。また、県民の友は16ページになりますが、点字版になると100ページ前後になります。



点字を打った亜鉛版に紙を挟み、機械を通して圧力をかけ、1枚ずつ手作業で作成しています。

お気軽にどうぞ

※年末年始の業務については、各機関にお問い合わせください。

県民相談・交通事故相談 ☎073-441-2356

【常設相談】場所/県庁県民相談室、県庁交通事故相談所

【相談】日時 問い合わせ必要

場所/西牟婁振興局 ☎0739-26-7903

【弁護士による相談】

日時 問い合わせ必要

場所/県庁県民相談室、県庁交通事故相談所、振興局(海草除く)、串本町文化センター

消費生活相談

県消費生活センター ☎073-433-1551

(日曜日は電話のみ 10:00~16:00)

県消費生活センター紀南支所

☎0739-24-0999

福祉サービス相談 ☎073-435-5527

【常設相談】場所/県運営適正化委員会(和歌山ビッグ愛6階 県社会福祉協議会内) FAX073-435-5584

人権相談 ☎073-421-7830

【常設相談】場所/県人権啓発センター(和歌山ビッグ愛2階)

※県庁人権局(☎073-441-2563)、振興局でも実施しています。

【弁護士による相談】

日時 問い合わせ必要

場所/県人権啓発センター

☎073-435-5420

労働相談

【相談】☎073-436-0735

月・火・木・金曜日 10:00~16:00

(水・土曜日は問い合わせ必要)

場所/労働情報センター(和歌山市北出島 1-5-46)

【労働委員会の委員による月例労働相談】

☎073-441-3781

場所/県庁労働委員会委員会室

高齢者相談 ☎073-435-5212

【常設相談】場所/県高齢者総合相談センター(和歌山ビッグ愛7階)

※無料職業紹介もあります。

【弁護士による相談】

日時 問い合わせ必要

医療安全相談 ☎073-441-2611

【常設相談】場所/県庁医務課、県立保健所総務健康安全課(串本支所は保健環境課)

【弁護士による相談】

日時 問い合わせ必要

場所/県庁医務課

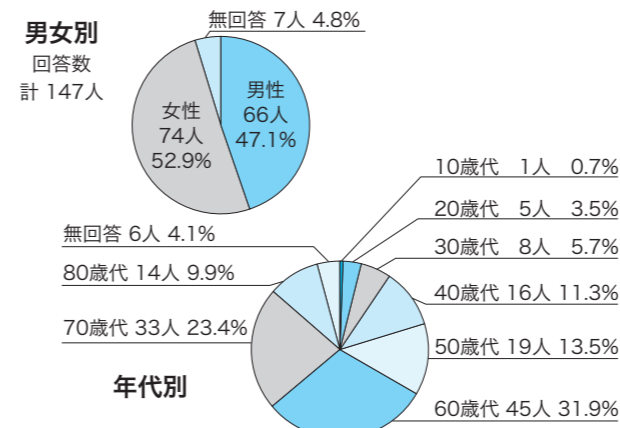
警察相談 ☎#9110

相談日 毎日 24時間

ダイヤル回線の場合 ☎073-432-0110

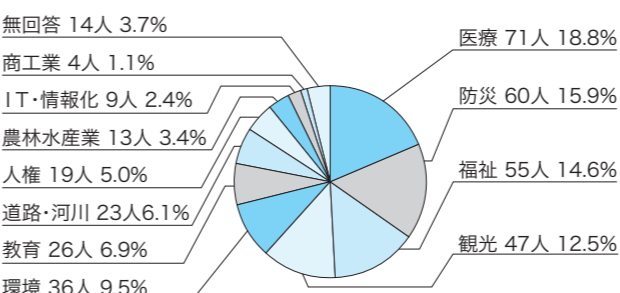


「県民の友」6月号の意見募集で、寄せられたご意見・ご提案



「県民の友」に寄せられたご意見・ご提案

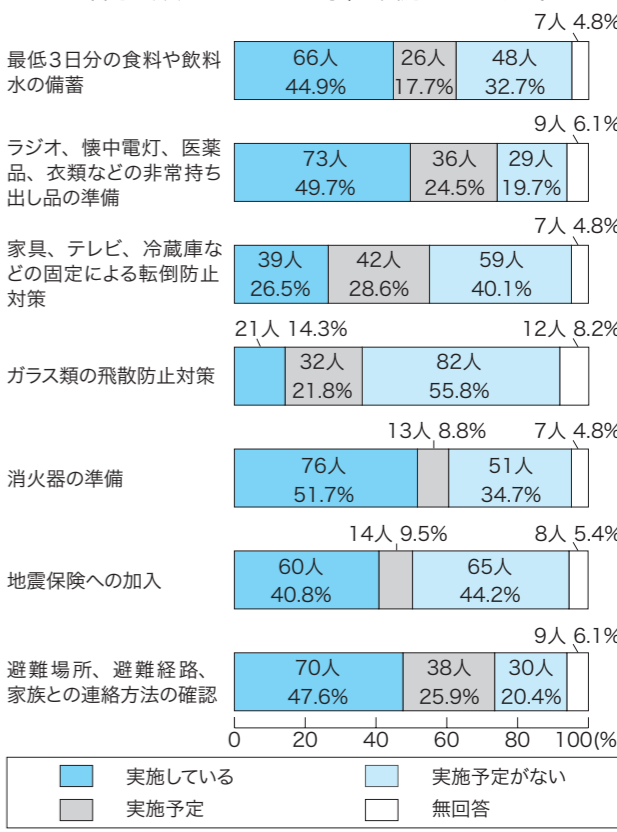
【特集コーナーで取りあげてほしい分野】(複数回答可)



ご協力ありがとうございました。いただいたご意見を参考になお一層努力しますので、今後ともよろしくお願いいたします。(編集部一同)

「家庭での防災対策」に寄せられたご意見・ご提案

ご自宅で、次にあげるような対策を実施していますか。



海南市・紀美野町を中心に生産される家庭用品は、日本一の出荷額を誇ります。市場で販売されているその約8割がこの地域で作られたものです。その歴史は古く、起源は明治時代の棕櫚縄作りにまでさかのぼります。それから百余年のときを経て、棕櫚から化学製品へ素材も変化し、時代とともに進化し続ける家庭用品。開発が進んでいます。

家庭用品

わかやま一番 ⑤

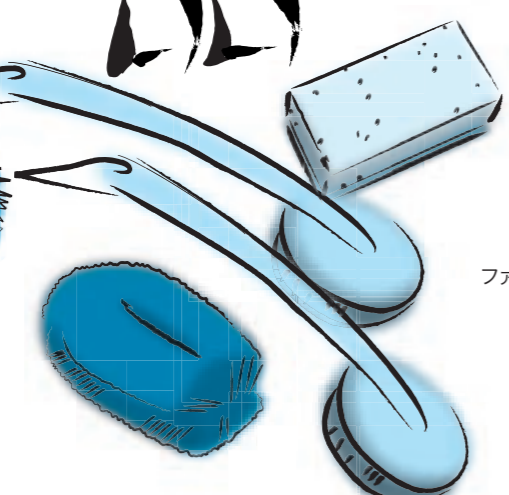
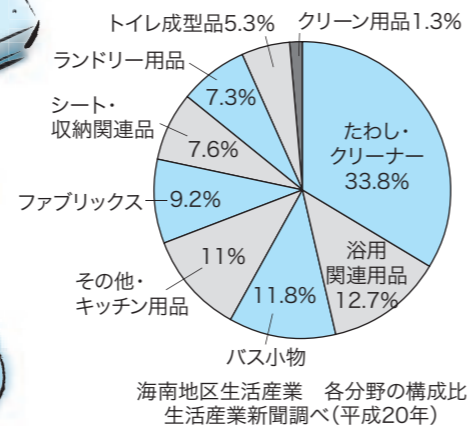
今回は、日本一の出荷額を誇る「家庭用品」を紹介します。

家庭用品のルーツ「棕櫚」

海南地区の家庭用品は、当時、紀美野町周辺で多く植栽されていた棕櫚を材料に、縄やたわしなどを製造していたのが原点といわれています。棕櫚はヤシ科の常緑高木で、直立した幹は約10mに達し、その幹に巻付いている繊維が材料となります。

問い合わせ 海草振興局企画産業課
☎073-441-3373

出荷データ



棕櫚職人

棕櫚を使い、和歌山県名匠にも選ばれた匠の技で棕櫚箒をつくられているのが桑添勇雄さんです。棕櫚に含まれる自然の油分がツヤを与えるということで、最近ではフローリングの床に使用する女性からも人気が出ているとのこと。「棕櫚の繊維は数十年たってもほとんど劣化しないから、何年も使った箒を庭などで再利用する人も多いです。」すべて手作業で丹念につくられる棕櫚箒は、機能性だけでなく洗練された美も醸し出しています。

<http://www.shurohouki.com/>



桑添勇雄さん

知っておきたい暮らしの情報

消費期限と賞味期限は、どっちがう?

問 県庁食品・生活衛生課 ☎073-441-2636

食品の袋や容器などに書かれている「消費期限」、「賞味期限」という日付。どちらも期限を示したのですが、意味はちょっとちがいます。

消費期限とは?

その年月日までは「安全に食べられます」という期限を示しています。おもに、お弁当やおかずなど、いたみやすい食品につけられます。(たとえばこんな食品に表示されます)



賞味期限とは?

その年月日までは「品質が保たれ、おいしく、安全に食べられます」という期限を示しています。消費期限に比べ、いたみにくい食品につけられます(つくられた日から3カ月をこえるものは年月で表示することもあります)。日付を過ぎると、すぐに食べられなくなる、というわけではありませんが、早いうちに食べましょう。(たとえば、こんな食品に表示されます)



ここに注意!

消費期限も賞味期限も「袋や容器を開けないで」「書かれた保存方法を守って保存している」場合の、安全やおいしさを約束したものです。一度開けたものは、早く食べましょう!

出典:内閣府食品安全委員会季刊誌「食品安全」Vo.12(平成19年3月発行)より



今月号のひとこま

東京で和歌山の魅力を発信!

高野山・熊野三山シンポジウム (10月16日)

世界遺産登録5周年を記念して東京・日本橋の三越劇場で、グローバルな視点から見た「紀伊山地の霊場と参詣道」の魅力と価値をテーマに開催し、約500人の方が参加されました。第1部は、写真家の浅井慎平さんによる記念講演、第2部のシンポジウムでは、ゲストパネラーに浅井慎平さん、パネリストに金剛峯寺執行の村上保壽さん、仁坂知事、県世界遺産センター長の辻林浩さん、そして聞き手にシンガーソングライターの池田綾子さんを迎え、「高野山」「熊野」の魅力や、そこを旅する楽しさなどについて語り合いました。

問 県庁観光振興課 ☎073-441-2775

Le わかやまマルシェ2009 in 赤坂サカス (10月16~18日)

首都圏大規模誘客イベントとして和歌山の「食」や「観光」を実際に体感してもらうイベントを昨年引き続き赤坂サカスで開催しました。初日は、和歌山の魅力をPRするため、約300人のマスコミ、旅行エージェントに向け、仁坂知事がプレゼンテーションを行いました。その後、池田綾子さんのミニコンサートやマグロの解体ショーなども実施。最終日には、和歌山県ふるさと大使の坂本冬美さんも参加し、歌やおしゃべりで会場の盛り上がりも最高潮に。3日間で4万人を超える人が来場しました。

問 わかやま喜集館 ☎03-3216-8000



県のPRをする仁坂知事